

## 防災緑地に植樹する苗木を採取しました！

福島県では、現在、沿岸部において津波被害を軽減する防災緑地の整備を進めています。いわき市南部の勿来地域の「岩間防災緑地」においては、その整備にあたり、地域の豊かな自然をより多く残すとともに、多様性を持った森を育て後世に継承していくために、現地に生育する樹種を基本に植樹していくこととしています。

平成27年6月7日（日曜日）、すばらしい青空のもとで、特定非営利活動法人 勿来まちづくりサポートセンターの皆様や樹木医の木田都城子先生、芝浦工業大学の学生、いわき市職員の方々とともに、これらの苗木の採取を行いました。

この苗木の採取は今回で3回目になりますが、これまでに採取したものを含め約 1,300 本となり、防災緑地に植樹するまでの間、近隣の小学校で育ててもらおう予定です。



近隣の小浜町的那智神社にて、ツタウルシなどの危険な樹木に注意しながら苗木を採取します。



苗木の採取後、樹木医の木田先生から樹木の名前を教えていただきます。



採取した苗木を育苗するポリポットに植えていきます。



植え付けの完了です。